

# 旭福祉センター・第二旭福祉センター

## 2023(令和5年)年度 事業計画書

※中期経営計画に基づいた令和5年度の単年度目標

### I. 利用者ニーズ起点による既存事業の安定経営

#### **【グループホーム】**

##### (1) 「グループホーム担当支援員・世話人の支援技術向上」

###### ① 世話人との意見交換会の実施

支援力強化も含めた世話人との定例会について、引き続き支援内容の検討・修正を実施するとともに、幹部や関係職員も出席することで、より一層の支援力向上と情報共有を目指す。

##### (2) 「利用ニーズの増加」への対応

###### ① 2棟目の包括介護型グループホームの検討

2棟目の包括型の必要性について2024年度以降に検討を開始する。

###### ② グループホーム(9棟目)の検討

女性専用のグループホーム検討(2棟目)を含め、グループ全体として9棟目となるグループホームの建設について、2025年度以降に検討を開始する。

#### **【入所】**

##### (1) 「入所棟新設に伴う土地買収と建物新設」

###### ① 土地買収手続きの遂行

現在 折衝中である所有者との接触を仲介業者に依頼し、状況の把握と打開策を練る。

#### **【就労継続支援B型】**

##### (1) 「新規の作業・商品・利用者の開拓」

###### ① 新規事業の開拓・新商品の開発

新規事業の開拓として、令和5年4月より市内集合住宅の清掃業務を受注した。今後 確実に業務を遂行し、更に受託件数を増やせるよう務める。

また、新商品の開発については、2024年度の事業化(製品化)を目標に検討・議論をすすめる。

## ② 販路拡大

販路拡大は引き続き現状分析・情報収集を実施し、具体的な戦略を決める。

## ③ 目標工賃の達成（各作業班）

今年度 旭福祉センターの目標工賃 月額30,000円、第二旭福祉センターの目標工賃は 月額28,000円を目標額とする。

## ④ 作業の質の向上（作業委員会）

各作業班が育成シートを確実に実施できるよう、作業委員会が各作業班と連携をとって、適切な運用管理を行うことで、職員の作業スキル向上を図る。

## ⑤ 機械化による高効率化（幹部職員）

ICTを活用した勤怠管理についての業者打ち合わせ、見積もり入手は完了。今年度は本格的な検証に入り、ICT導入についての最終判断を行う。また、その他機器の導入による効率化についても引き続き情報収集を行う。

## ⑥ 新規利用者獲得

SNSを活用した情報発信を行い、コロナ禍で実施できなかった特別支援学校向けの見学・体験会や、定期訪問の実施により、認知度向上を目指す。（取組みの発信）

## 【生活介護】

### (1) 「利用者の重度・高齢化に合わせた支援やプログラムの提供」

#### ① 先進的な他施設の訪問計画及び、情報収集

今年度も施設見学を計画・実施し、活かせる知識・技術を持ち帰り検討。生活介護班内で支援技術の向上を図る。

#### ② 介護プログラムの確立：音楽療法カリキュラムの知識・技術伝承

前年度に実施した音楽療法カリキュラムの情報を基に、今後の音楽療法のあり方について検討し、今年度の前半においてカリキュラムの修正を行う。

#### ③ 新規創作作品の開発・販売

新規創作作品はバザー等で試験的に販売するまでこぎつけた。ただ、販売するまでのクオリティが課題として残っているため、その点について修正を行う予定である。また、素材となる作品の製作及び、製品化に関する情報収集は引き続き継続して行い、その中から新たな商品化を模索する。

## 【就労移行】

### (1) 「認知度向上・就労移行カリキュラムの充実・就労機会の確保」

### ① 就労移行事業のアピール強化による新規利用者の獲得

チラシ・掲示用ポスター・SNS等を活用した情報発信を行うとともに、特別支援学校向けの見学・体験会の実施、関係機関への定期訪問を通し、認知度の向上を図り、新規利用者の獲得を目指す。

### ② 就労カリキュラムと就労支援員の育成

令和4年度に修正を行った新しい就労カリキュラムの運用を通し、引き続き見直しや改善を行う。また、カリキュラムの実践を通し、就労支援員のスキル向上を図る。

### ③ 実習先の確保と就労先への定期的な訪問

利用者が充実した実習ができるよう多種多様な企業の情報収集を行い、新しい実習先を選定する。新しく選定した実習先に対しては、B型・施設外就労等の営業活動も含めた定期訪問 及び、既存の就労先については具体的な訪問計画を立案して実行し、情報の共有と良好な関係の構築に務める。

## Ⅱ. 人が育つ組織づくり

### ① 組織風土診断や定着者・退職者の分析

より良い職場環境をつくるために具体的な情報収集を行う。

職員の満足要因・不満足因子を分析した上で、効果的な具体策を検討する。

特に今年度は、定着職員の満足要因を整理し、より満足感を高める職場環境構築を進める。組織診断については、毎年実施することで、経年比較を行い施策の有効性を検証する。

### ② 管理職と職員の対話を促進

課長・主任クラスの管理職が部下との面談を行うことで、業務への不安や不満などを早い段階から把握し、組織全体に働きかけながら解消方法を模索する。以前「対話力向上研修」で学んだことをヒントに、今年度も面談を実施するとともに、課長・主任クラスに対しては施設内研修の場で「対話力向上研修」を実施し、面談者のスキルアップを行っていく。

## Ⅲ. 計画的な新規事業の創造

### (1) ネット販売プロジェクト

旭福祉センターグループでのネット販売を2023～2024年度までに開始できるよう、今年度も引き続き情報収集を行い、プラットホームを選定することを目標とする。（ネット販売プロジェクトチーム）

## 各委員会・各作業班 重点目標

### (1) 各委員会

	委員会名	2023年度 重点目標
1	支 援	・個別支援計画の新システムの構築と職員への研修の開催
2	生 活	・役割分担の徹底と協力体制 ・生活環境充実のための意識向上
3	作 業	・作業環境整備 ・各作業班製販計画の達成
4	地 域	・各バザーフロー表に基づいた計画の実行とフィードバック
5	事 務	・業務効率化の推進 ・情報共有の徹底と円滑な連携(各部署、事務所内)の遂行
6	炊 事	・個々のニーズに合わせた食事作り ・感染症対策の徹底
7	職場改善①	・働きやすい職場環境の推進 ・職員研修の内容充実
8	職場改善②	・職員育成体制の充実と職員必携の活用
9	人権擁護	・年間計画の確実な実施 ・情報共有の徹底
10	地域貢献	・地域との関係性の構築
11	行 事 A	・行事計画の早期立案と早期周知 ・計画フローの作成
12	行 事 B	・年間行事の把握、早期立案と周知の徹底
13	行 事 C	・行事のフロー再確認 ・早期計画、早期周知の徹底
14	入所・GH 旅行	・利用者が楽しめる企画の立案
15	広 報	・計画の早期立案と確実な実行 ・情報発信の向上
16	総 務	・明るく働きやすい職場環境作り(リフレッシュ休暇取得・4日以上連続休暇の年2回取得 いずれも100%達成)
17	保 健	・年間計画の確実な実施 ・情報共有の徹底と情報発信力の向上

## (2) 各作業班

今年度 目標工賃 (旭福祉センター 月額 30,000 円)

(第二旭福祉センター 月額 28,000 円)

作業班	2023 年度 重点目標	目標額
NODOKA	<ul style="list-style-type: none"><li>・集客率アップ</li><li>・料理開発</li><li>・接客サービス向上</li></ul>	7,500,000
楓(菓子班)	<ul style="list-style-type: none"><li>・人材育成(楓のスキルアップ)</li><li>・利用者新商品の確立</li><li>・ブランド強化の確立</li></ul>	19,200,000
竹 工	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者の適材適所推進</li><li>・職員のマルチスキル化</li><li>・人材育成</li></ul>	2,750,000
蔬 菜	<ul style="list-style-type: none"><li>・人材育成</li><li>・栽培工程のマニュアル化</li><li>・地域との交流</li></ul>	4,450,000
陶 芸	<ul style="list-style-type: none"><li>・絵付け作業の人材育成</li><li>・手作り商品の充実</li></ul>	850,000
施設外就労 (公園・地域清掃等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者支援の充実</li><li>・関係機関との連携強化</li><li>・地域との関係性の構築</li></ul>	公園 30 地域清掃 50 ユーマー30 1,100,000
メンテナンス	<ul style="list-style-type: none"><li>・作業フロー作成</li><li>・作業人員育成</li><li>・研修体制の確立</li></ul>	24,900,000
味 噌	<ul style="list-style-type: none"><li>・在庫管理の徹底</li><li>・味噌作りの人材育成</li></ul>	1,500,000
生活介護	<ul style="list-style-type: none"><li>・支援技術の向上</li><li>・新規創作作品の決定</li><li>・音楽活動についての検討</li></ul>	120,000
合 計 額		62,370,000

令和 5 年度 事業計画 以上